

1. 内規、若ノ区際手立ノ支店に解任手立三月小支店  
(4) 希地条件。

1. 解任条件、今世ノ作業者ノ定封、区ノ解任手立。

2. 解任区ノ重役一同東京滞在ノ下。

3. 既提出要約条件ノ再五折案ノ希地手立。

4. 全期ノ目的、就テ、社員ノ加勢手立。

二、職ニ側

1. 猶之也ノ即時押交シ。

2. 解任手立出納ノ即時押交シ。

3. 仕掛品ノ完成ノ既ノ品種、数量、全額ニ及ニ海羽ノ協定

ニ依リ引免テ完成ノ曉万廿四時ノ低下ニ及ニ時ノ現世

業務ノ責任者トシテ其ノ責ニ任ス、ナド但シ其解任手立

ノ出納ニ相當ニ手立。

4. 今回解任手立決定後、肉体的ノ労苦は注意的ニ諸位費ノ

代償トシテ五月十日ノ支給手立。

5. 作業引交ノ、今社則ト両者ノ折ノ形取手立。

今世社務員金子源氏労働同、今社種々斡旋、努力九日重役

金源ノ南ノ左にハ前件案ヲ協定出来左業、今社之職取

2例トノ折衝ヲ重ネテ、今十月十日社員封手立ノ同、規

定区際手立、各二十日ノ控除シテ左に、解任案ニノ協定

高裏面ノニ金子ヨリ手立、今山林重役ヨリ手立、今一月

封トシテ提供ス、今十一月十日協定。

一方職ニ側リ、年費費用ノ因執シ、為人、社員他ノ全一条件

以外ノ多額費用トシテ、今七月ノ提供ス、今社協定手立

三、解任手立、今九月十日協定。

一、解任手立同時、規定額ノ出納ノ支店ニ、後手立、今社ノ返還ス。

財團 協 調 會